

江戸川保健所からのお知らせ

～コロナ禍での子ども食堂の運営について～

12月現在、江戸川区内でも新型コロナウイルスの患者が増加しています！

冬場は低温で乾燥しており、また食事中はマスクを外して飲食をするため、ウイルスに感染するリスクが高くなります。

高齢者の利用も多いし、感染するとリスクが高いので、今はお休みした方がいいかしら…。



食事をする場所も広いし、窓も開けられるので、少人数にしぼって、感染防止対策を、十分に気をつけながら、食事を出そうかな？



密を避ける！
食事中は、しゃべらない！

お弁当や食材を配布して、家で食べてもらう方法を考えているわ。



今は、あらゆる世代で感染が広がっており、最も気をつけなければならない時期です。

施設によって、できる対策や状況はさまざまです。今は、感染防止を第一に考え、子ども食堂の運営方法を決めることが大切です。

新型コロナウイルス感染防止対策を 改めて徹底しましょう！

【新型コロナウイルス感染症の注意点】

- 症状が出る2日前から、周囲に感染させるおそれがあります。
- 感染しても症状が出ない場合や、「のどの痛み」や「微熱」など症状が軽い場合、知らずに感染を拡げてしまうことがあります。

いつ誰が感染していてもおかしくない状況です

「自分や隣の人が感染しているかもしれない」という意識を持って行動しましょう

少しでも体調に異変を感じたら、
従事しない！

味覚障害など

「私が休んだら、みんなに迷惑
をかけてしまう…」と思わず、
休んで様子を見ましょう。



食事中などマスクを外した時は
要注意！

スタッフ同士で食事をす
る時も、会話は控えまし
ょう。



基本的な感染防止対策の徹底を！



マスク着用



手洗いの徹底



換気



消毒



距離の確保 など

ひとりひとりの小さな努力の積み重ねで、感染を防ぎましょう

お弁当などを持ち帰りで提供する場合の注意点

- 適切な温度管理に気をつけましょう！
直射日光が当たる場所や、温度管理ができない場所には絶対に置かないで下さい。
- 加熱・放冷を意識しながら、できたてのものを提供しましょう！
食中毒菌は約 20～50℃の温度帯でよく増えます。「調理時の十分な加熱」、「小分けによる速やかな放冷」、「持ち帰り時の保冷剤の使用」等にとりくみ、食中毒菌の増殖を防ぎましょう。
- 速やかに食べるようお知らせしましょう！
提供後、速やかに食べてもらえるよう口頭、または容器にシールを貼るなどしてお知らせしましょう。

今年度は、施設への立入りが難しい状況ですので、保健所からお電話で子ども食堂の運営状況等についてお聞きする場合がございます。その際は、ご協力お願いいたします。

江戸川保健所生活衛生課 食品衛生係

問合せ先：03-3658-3177